

# 決算説明会 2026年2月期 通期（第44期）

## ソーバル株式会社

東京証券取引所 スタンダード市場  
証券番号：2186

2026年4月16日  
代表取締役社長

推津 敦

総スライド数：12ページ

# 目次

---

<b>はじめに</b>	ソバルグループ概要
<b>前期の総括</b>	1-1 業績ハイライト 1-2 財政状態／キャッシュフロー 1-3 売上構成比   主要顧客 1-4 売上構成比   契約種別 1-5 売上／利益の推移   セグメント
<b>今期の展望</b>	2-1 今期の見通しと業績予想 2-2 配当予想／株主優待
<b>トピックス</b>	3-1 子会社化：理創社 3-2 子会社化：プリサイス社

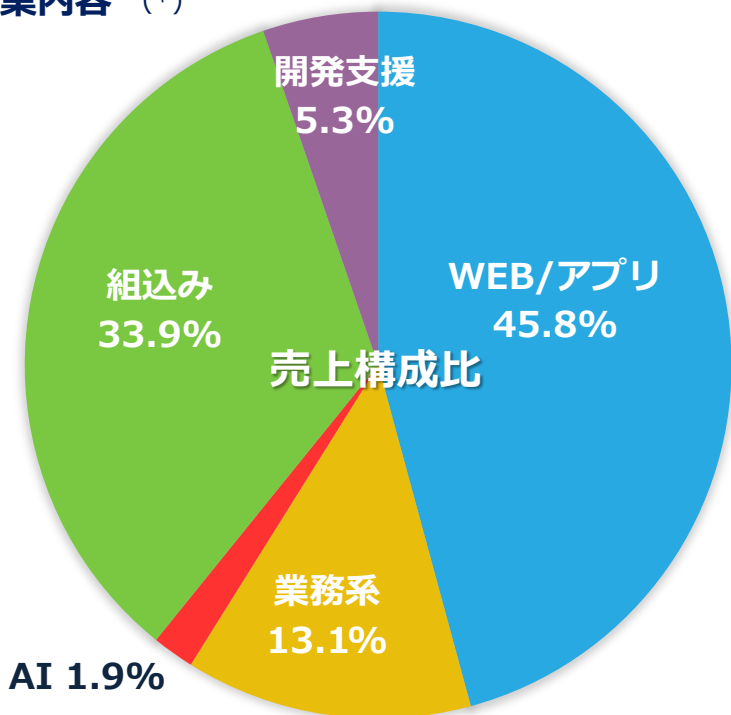
# ソーバルグループ概要

2026年2月末日現在  
一部3月末情報を含む  
(\* ) グループ全体

設立	1983年1月
資本金	2億1,426万円
売上高	89億7,697万円 (* )

本社所在地	東京都品川区
従業員数	978名 (* )
平均年齢	37.2歳

## 事業内容 (\* )



## 主な開発実績

WEB・クラウドシステム、スマホアプリ、  
企業向け業務系システム、自動運転、  
デジタルカメラ・ビデオ、医療統計解析、  
AIデータ分析、各種マニュアル制作、など

## 子会社

- アンドールシステムサポート株式会社  
1969年11月設立 資本金9,900万円
- 株式会社 コアード  
1987年2月設立 資本金2,000万円
- 株式会社 理創 (2025/12 子会社化)  
1985年4月設立 資本金2,900万円
- プリサイズ株式会社 (2026/3 子会社化)  
2005年11月設立 資本金1,000万円

理創社については、2026年2月28日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当連結会計年度に係る連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

# 業績ハイライト

(百万円)	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	前年同期比	予想	達成率
	実績	実績	実績			
売上高	8,169	<b>8,682</b>	<b>8,976</b>	<b>3.4%</b>	8,900	100.9%
営業利益	670	<b>612</b>	<b>662</b>	<b>8.1%</b>	650	101.9%
経常利益	691	<b>645</b>	<b>680</b>	<b>5.5%</b>	660	103.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	513	<b>432</b>	<b>460</b>	<b>6.5%</b>	440	104.6%

## Point

- 全ての項目で当初の予想を上回る着地。

# 財政状態／キャッシュフロー

(百万円)	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
総資産	5,098	<b>5,681</b>	<b>5,889</b>
純資産	4,164	<b>4,336</b>	<b>4,537</b>
自己資本比率	81.4%	<b>76.1%</b>	<b>76.8%</b>
1株当たり純資産	527円48銭	<b>549円42銭</b>	<b>574円91銭</b>
営業活動によるCF	95	<b>844</b>	<b>372</b>
投資活動によるCF	△17	<b>270</b>	△ <b>118</b>
財務活動によるCF	△258	△ <b>259</b>	△ <b>258</b>
現金及び現金同等物の 期末残高	2,945	<b>3,801</b>	<b>3,796</b>

## Point

- 引き続き自己資本比率は高い水準を維持。
- 投資CFの減少理由は、主に株式会社 理創の子会社化に伴うものです。

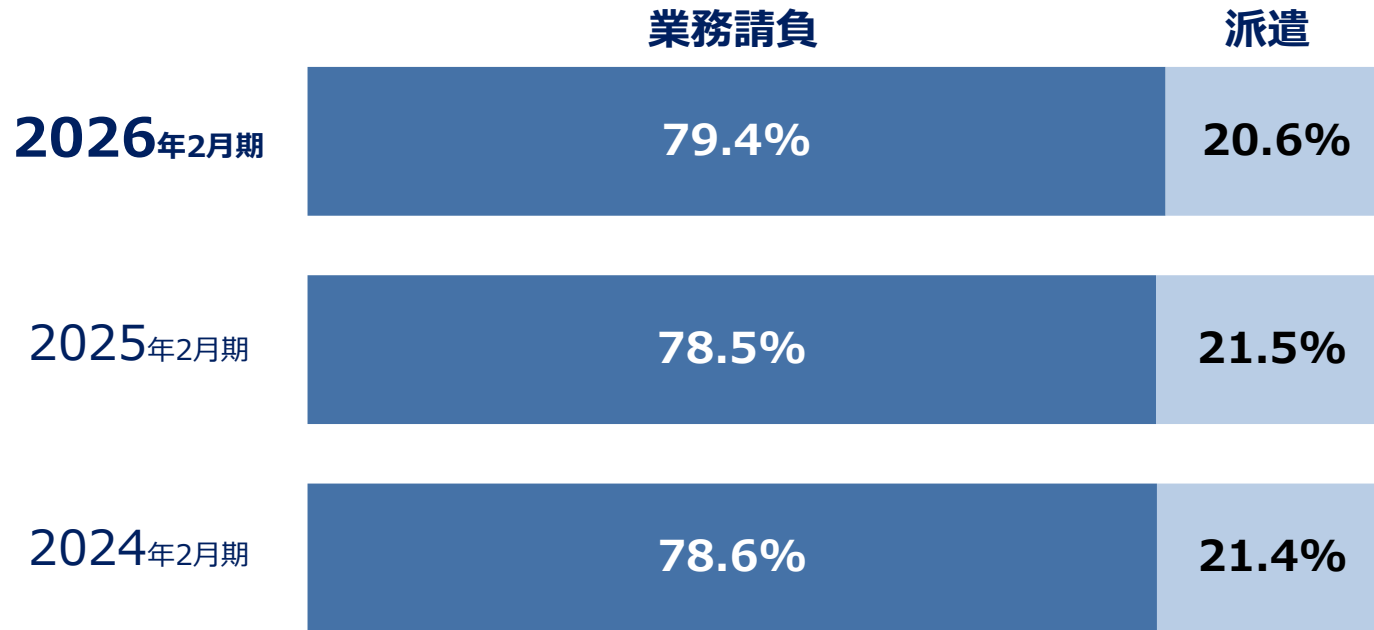
# 売上構成比 | 主要顧客

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
ソニーグループ	31.4%	31.0%	<b>28.3%</b>
富士通グループ	13.6%	14.3%	<b>11.3%</b>
キャノングループ	9.5%	9.4%	<b>10.8%</b>
リクルートグループ	6.1%	6.9%	<b>6.7%</b>
日立グループ	3.9%	4.4%	<b>5.4%</b>
トヨタグループ	3.2%	2.8%	<b>2.4%</b>
トーヨーカネツグループ	1.6%	1.6%	<b>2.1%</b>
その他	30.7%	29.6%	<b>33.0%</b>

**Point**

- 上位6社は若干の増減はあるも構成順位に変動無し。

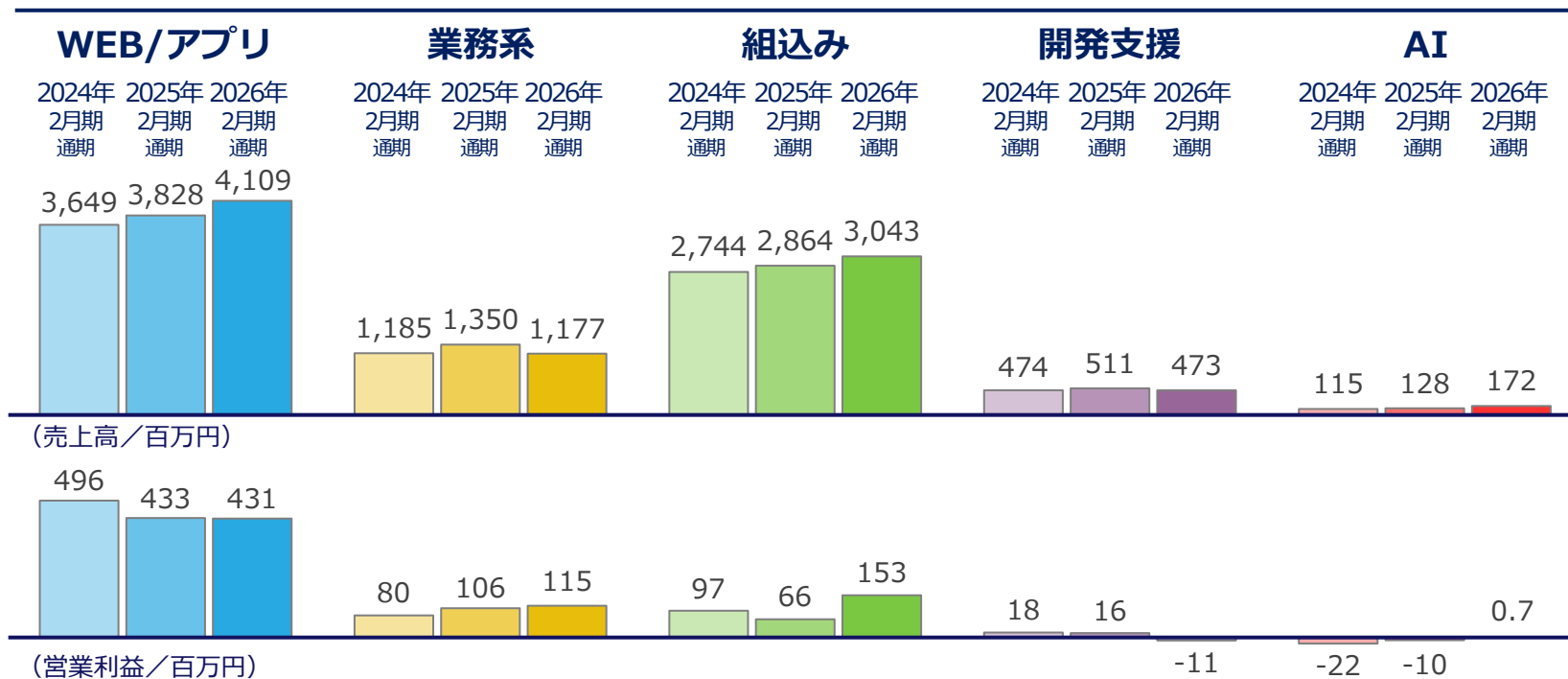
# 売上構成比 | 契約種別



## Point

- 構成比率は適正比を維持。
- 適正比を維持しつつ、それぞれの分野で強みを活かし利益率向上を目指す。

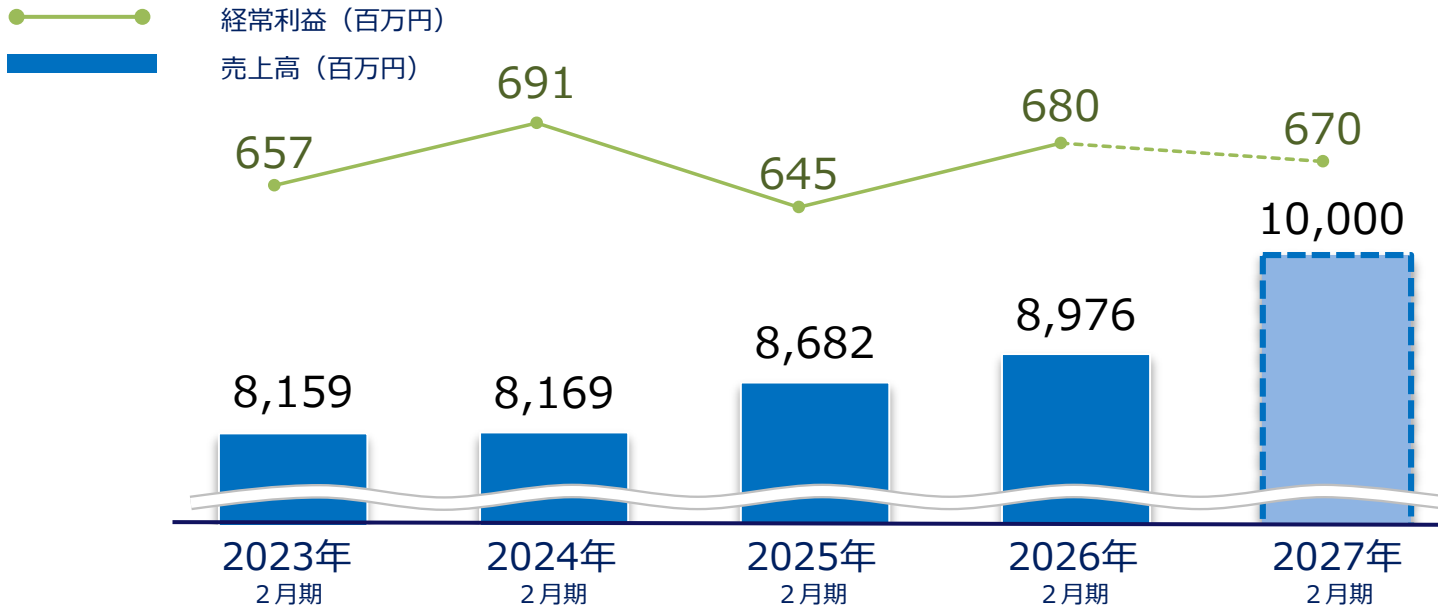
# 売上／利益の推移 | セグメント



## Point

- WEB/アプリは、請負案件の一部で不採算案件が発生し、売上増に対し利益は控えめ。
- 業務系は、大型案件の減少が影響し、売上が伸び悩むも利益は増加。
- 組込みは、売上が利益ともに増加。生産性を高めた結果、利益面での改善が顕著。
- 開発支援は、大型案件の減少ならびに新規顧客の開拓が難航し、売上・利益ともに厳しい。
- AIは、増加傾向を継続も爆発的な伸びには至らず。

# 今期の見通しと業績予想



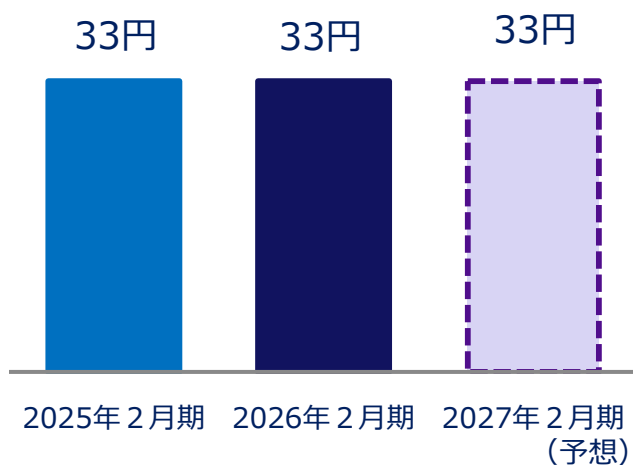
テーマ  
中期経営計画の着実な達成

## Point

- 減益要因は子会社取得関連費用および、のれん償却の影響。
- グループ一丸となって売上100億円の達成に向け邁進いたします。
- 新たにソーバルグループとなった2社とのシナジー効果を最大化します。

# 配当予想・株主優待

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2027年2月期（予想）	16円50銭	16円50銭	33円00銭
2026年2月期	16円50銭	16円50銭	33円00銭
2025年2月期	16円50銭	16円50銭	33円00銭



株主優待制度		
対象	継続保有年数 3年未満	継続保有年数 3年以上
1単元以上 10単元未満	500円相当の QUOカード	同左
10単元以上	2,000円相当の QUOカード	4,000円相当の QUOカード

# 子会社化：理創社



**社名** 株式会社 理創 (RISO Co., Ltd.)

**設立** 1985年4月

**本社所在地** 東京都渋谷区代々木1-36-1  
オダカビル4F

**代表者** 代表取締役社長 西田 尚信

**資本金** 2,900万円

## 主な事業内容

ソフトウェア受託開発：

- 制御・通信システム
- 業務系アプリケーションの構築

Web・クラウド関連：

- ワークフロー開発
- Salesforce導入支援
- Java/HTMLを用いたシステム開発

**主要株主** ソーバル株式会社100%

理創社は東京都に拠点を置く、約40年の歴史を持つシステム開発企業です。社員数46名、売上高約3億円の事業規模です。

事業領域としては、ソフトウェアの受託開発や開発支援、システムの運用・保守を得意としており、ソーバルのBtoB事業拡大と付加価値の高い請負ビジネスの強化に貢献できる分野に秀でています。

組織の特徴としては、若手が多く在籍し、独自の「OJT体制」を確立してエンジニアを教育する環境が整っています。また、10年を超えて在籍する社員も多く、定着率の高さも強みとしています。

理創社の「確かな技術と誠実な心」という理念や「社員を大切にする」という企業文化は、ソーバルの「技術で社会に貢献する」という方針とも深く共鳴するものです。

これら、「事業・若手教育環境の補完性」と「社員を大切にする価値観の一致」が、理創社を選んだ理由となります。

——【PR開示】2026年02月03日——

「株式会社理創の株式取得（子会社化）のお知らせ」を掲載しました  
[https://www.sobal.co.jp/ir/pdf/sobal\\_20260203.pdf](https://www.sobal.co.jp/ir/pdf/sobal_20260203.pdf)

# 子会社化：プリサイス社



<b>社名</b>	プリサイス株式会社 (Precise Inc.)
<b>設立</b>	2005年11月
<b>本社所在地</b>	大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号 堂島ビルディング5階
<b>代表者</b>	代表取締役会長 推津敦
<b>資本金</b>	1,000万円
<b>主な事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コンピューターシステムの企画・開発・開発支援</li><li>・ 受託開発およびITエンジニアの派遣</li><li>・ コンタクトセンターの提案・構築・支援</li></ul>
<b>主要株主</b>	ソーバル株式会社100%

プリサイス社は大阪市に拠点を置く、精鋭エンジニア集団です。社員数43名、売上約3億円弱の事業規模です。

事業領域としては、業務系アプリケーションを得意とし、特に製造業向けの管理システムの知見が多く、ソーバルの事業にはない分野に秀でていきます。

組織の特徴としては、平均年齢30歳台前半と若く、社員の約9割が情報処理資格を保有する「技術習得への意欲」が極めて高い組織です。また、女性技術者が4割を占めています。

プリサイス社の「人を大切にし、教育を重んじる」という企業文化は、ソーバルの理念とも深く共鳴するものであり、同じ志を持つパートナーとして最高の相性であると確信しました。

これら、「技術の補完性」と「価値観の一致」が、プリサイス社を選んだ理由となります。

——【PR開示】2026年03月02日——

「プリサイス株式会社の株式取得（子会社化）のお知らせ」を掲載しました  
[https://www.sobal.co.jp/ir/pdf/sobal\\_20260302.pdf](https://www.sobal.co.jp/ir/pdf/sobal_20260302.pdf)